

(1) 事業名称

【事業名称】 NPO 等による文化財建造物の管理活用事業

【実施団体】 特定非営利活動法人 佐賀県 CSO 推進機構

【事業経費】 1,495,550 円

(2) 事業目的

小城市に点在する国登録有形文化財・佐賀県遺産をつなぐためにも維持管理している団体、企業と連携する必要がある。またそれぞれのイベント等を単独ではなく連携して行う必要があるため、ワークショップを開催し、それぞれの情報共有と団体＋市民を巻き込む形にする。また来場者等が回遊して頂く事が望ましいので、現存するボランティアガイドの育成強化し人材を育成し「古民家ツーリズムコンシェルジュ」でパワーアップし、回遊者・観光客に喜んで頂ける場をつくる。

(3) 事業活動内容

テーマは「和のこころ」とし、古の文化を継承し、まちを育む生活文化が訪れる人々の共感を呼ぶことになる。

当団体が中間支援という立場から NPO、市民活動、所有者、市民、行政、企業を巻き込んでの実施である。

① 既存のボランティアガイドのコンシェルジュ講座

歴史観光ガイドだけにとどまらず要望にこたえてのサービスを学ぶ。

8月・9月・10月の講座

※観光協会との連携

② 小城市に点在する国登録有形文化財・佐賀県遺産の管理者等のワークショップ

7月・9月・10月・11月・12月・1月開催

開催の手順・・・管理者＋市民（募集）でワークショップを重ねるごと活用アイデアを出し最後は市民がどの文化財の会場で自分が活躍したいかを決め、その会場で活用イベントを団体とともに開催する。

※所有者、管理者、市民、行政との連携

③ 連携イベント開催

2月末開催

ワークショップで出たアイデアを基に各会場で「和のこころ」をテーマに開催する。

イベント時に「古民家ツーリズムコンシェルジュ」としてガイドの活躍する場

を設ける。観光協会と連携して告知を同時開催する。

※所有者、管理者、市民、行政との連携

さらに今回は、3STEP の段階を踏みつつ、観光ボランティアガイドの育成に着手した。

①知る機会

観光ボランティアガイドのコンシェルジュ講座の実施、観光に関する講師や県庁文化課より講師をお招きし、勉強会の実施、また佐賀市の”まち歩き”のイベント等での合流学習等を実施。

※協力：佐賀市魅力発掘プロデュース協会、県庁文化課



図 1.勉強会の様子



図 2.佐賀市まち歩き視察

②考える、意見交換する機会

佐賀で”まち歩き”を实践されている方をお招きし、観光ボランティアガイド参加者と、情報交換や、小城市の魅力を発想ツールを使って会議。また、ガイドツアーの企画構成の相談。



図 3.講師と意見交換

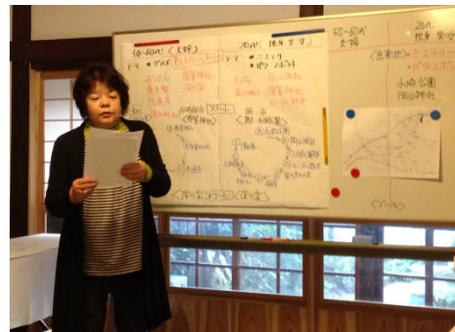


図 4.参加者の発表

③実践する機会

2月21(金)、22(土)、23(日)日にて雛祭りウォーキングを、ボランティアガイドが主体となって、参加者を公募して、各日にち約15名程度があつまるツアーを実施。3月22日(土)にも継続して実施予定。



図 6.ツアーでの集合写真



図 5.ツアーの様様

(4) 事業の成果

【2月21-23日の3日間の観光ボランティアガイドツアー実施】

- ・コンセプト
”天山の麓のパワースポットを巡り、小城のパワーをもらう！”
- ・内容 10：00-12：00の2時間での3kmコース
説明を交えながら小城の歴史にまつわる場所や小城の特産品を扱う店舗を合計9地点を巡るツアー。
- ・コース 大楠→岡山神社→烏森神社→茶笥塚→大楠→ルーテル教会→エリーゼ→むら雲羊羹→村岡総本舗→大楠

【参加者数】

- ・21日 10名
- ・22日 18名
- ・22日 講演会参加者 21名
- ・23日 30名

【メディア掲載】

メディアの効果によって、福岡、長崎といった、佐賀県外からの参加者を募れた。

- ・佐賀新聞10月5日（一面）、2月20日掲載
- ・西日本新聞1月17日（九州版）、2月22日掲載



10月5日



1月17日

- ・小城市報さくら(広告)
- ・佐賀市ぶらざ2月号(広告)98.076部配布



【アンケート集計】

- ① 8割以上の参加者は、60歳以上の参加者
→3kmよりも、もう少し長くても良かったという声もありつつも、75歳の参加者からは丁度良かったとの声。
- ② 県外からも多数の参加者
→全体の2割程度が県外参加者となり、ガイドの皆さんにとっても、小城を紹介する上でモチベーションに。
- ③ 満足度90%を越える参加者からの反応
→課題はまだまだあるものの、初めての試みで、参加頂いた方々に、楽しかった、満足という評価を頂けたことは大きい。

【相乗効果】

- ① ツアー中に参加したショップ
→3日間総勢約60名によって合計8万円程度の売上を計上。
(エリーゼ、むら雲羊羹、村岡総本舗)
- ② アンケート集計より
→県外の多くが、ツアー終了後に小城市内での飲食や観光によって更なる効果が得られたものと考えられる。

【文化財建造物連携イベント】

- ① 赤レンガ館・町会館お雛様展示イベント
 - ② 小柳酒造お雛様展示
 - ③ 天山酒造お雛様展示
 - ④ 深川家お雛様展示
- 総勢600名以上の方々がイベントに参加される。

(5) 事業実施後の課題

- ① 文化財建造物の一斉連携のイベントは難しかった
それぞれの文化財での行事があるためこの3日間に限定しては参加できない所も生じてしまった。しかし日程を変えての連携がとれるようにはなった。
- ② 現存の観光ガイドの方々にやる気を持って頂くために、そのほかの方々への広がりやすくなかった。今後ガイドの方々の増員をするためにも広がりがある動きが必要かと思われる。

(6) 今後の展開

- ① 文化財建造物の連携では3月22日に「天山酒造」春の酒蔵まつり、「小柳酒造」うまかもん市、「深川家 揚羽蝶」Old & New まーけっと、を同時開催し連携イベントとして点を線につないでいく。又シャトルバスを運行し文化財3か所を回れるようにする。
- ② 観光ガイドの方々も再度3月22日に「街なかツアー」を開催し、おもてなしに一役かって頂く。
- ③ ガイドツアーが今回の事業で1コース完成したので、次々にコースのアイデアが出てきたので、次のコースを完成し実現する。
- ④ 現在のガイドツアーが先生となり、近隣の小学生とまち歩きをし、マップを子供たちと制作し、子供のガイドの育成に一役かってほしい。